

Christmas Concert

松倉とし子と仲間たち
～とっておきのクリスマス～

2022.12.17(土)

開場 14:30 開演 15:00

山形県郷土館
文翔館 議場ホール

全席自由 4,500円
(とし子の会 会員 4,000円)

主催「とし子の会」

チケット/お問合せ

「とし子の会」事務局

090-4040-4864 (小関)



Member Profile



松倉 とし子 Sop. & Pf.

オペラ「フィガロの結婚」(スザンナ役)でデビュー後、数々のオペラの主役を演じる。作曲家中田喜直氏に「日本歌曲を歌うのに大切なものを全て具える」と高く評価され、氏の歌曲、抒情歌、童謡の多くをレパートリーとして、2000年5月に同氏が亡くなる直前まで全国でコンサート活動を共にしたほか、多数のCDを制作。音楽誌上で高評価を受けながら、サントリーホール、カザルスホールなど多数のホールでリサイタルを継続。年間80回に及ぶ演奏活動をこなす。

中田喜直が松倉とし子の声に合わせて作曲した「金子みすゞ詩による童謡歌曲集」は初演から大きな感動を呼び、同氏とのコンサートの中心のプログラムとなり全国のホールから招かれ演奏を重ねた。2001年6月にはワイン楽友協会ホールでの中田喜直作品コンサートに出演。世界中に「金子みすゞの心」を広げながら、NHK-TV「金子みすゞに捧ぐ・松倉とし子音楽ファンタジー」「みんなの童謡」、NHK-FMAへの出演で全国のファンに優しい歌声を届けている。

ポニージャックスとのステージは数多く、レパートリーは童謡からポップスまで幅広い。

故郷山形では、楽しい話をささみながらのディナーショー、スイートコンサート、自由なピアノアレンジによる歌声茶論など、多種多様なステージを重ねている。

「第29回日本童謡特別賞」「NHK東北ふるさと賞」「山形県芸術文化協会賞」「山形市政文化功労賞」など受賞多数。2015年1月から毎週日曜朝、YBCラジオ「松倉とし子うたの花束」がスタート。多くのリスナーに愛され、好評放送中。



松倉 望 Bar.

山形市出身。山形大学大学院修了。令和元年度県民芸術祭・山形市芸術祭開幕公演、オペレッタ『雪の女王2019』に出演。その他、クラシックのみならず、ミュージカルや童謡など様々なジャンルのコンサート、演奏会を多数企画・出演。これまでに音楽を鈴木集、藤野祐一、深瀬廉各氏に師事。



塚野 淳一 Vc.

福島市出身。山形大学教育学部特設音楽科、同専攻科修了。これまでにアロを黒沼俊夫、クニール・ラング、指揮を前田幸市郎の各氏に師事。1978年より東北では数少ないアロのアロ奏者として室内楽を中心に演奏活動を展開している。

アロの合奏団「アンサンブル・ゴシック」音楽監督。「社の弦楽四重奏団」「仙台アロ・アンサンブル」各メンバー。また、これまでに日本音楽家エッセイ東北地方本部運営委員として、事務局長、代表運営委員等を歴任。1992、94、96、98、99、2002年にリサイタルを開催。2012年には還暦記念として「Mild Concert」を開催した。2022年5月には吉希記念の「マイルド・コンサートⅢ」を開催、好評を博す。



山本 純 Vc.

山形大学教育学部音楽科卒業。1980年より、仙台フィルハーモニー管弦楽団(旧宮城フィルハーモニー)の契約団員を経て、1983年正式に楽団員となる。オーケストラ活動の他、リサイタル等のソロ活動、室内楽、仙台宗教音楽研究会などの通奏低音奏者としてコンサートに出演。最近では、復興支援コンサートに積極的に参加。また、シャンソンやジャズなどのポップス、演劇など、より多彩な演奏活動を展開している。



佐藤 太一 Trp.

山形県山形市出身。山形県立山形東高校卒業。山形大学地域教育文化学部音楽芸術コース卒業。山形大学大学院地域教育文化研究科文化創造専攻修了。ラインホルト・フリードリヒ、フリッツ・ダムロウ各氏のマスタークラスを受講。トランペットを井上直樹氏に師事。



小野 弘子 Pf.

山形県立山形北高校音楽科、山形大学教育学部特設音楽科卒業。ピアノを小園井弘子、小野崎通男、中川和義、須田真美子の各氏に師事。

室内楽や伴奏の分野で幅広い活動を続けながら後進の指導に当たっている。米沢市芸術文化協会より文化奨励賞受賞。

コール華、女声合唱ゆずり葉、オカリナ・アモーレ指導者。高島混声合唱団の伴奏者。

